



発行所  
一般社団法人秋田中央建設業協会  
発行人  
田中道

〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号  
TEL 018-862-7778  
akenkyo@akenkyo.or.jp

[秋田中央建設業協会](#) [検索](#)

## 一般社団法人 秋田中央建設業協会

# 女性部会設立総会を開催

当協会女性部会設立総会が、10月16日（水）午前10時30分から秋田キャッスルホテル「矢留の間」で、女性部会員32名のうち29名が参加して開催されました。

総会に先立ち、加藤義光秋田中央建設業協会会长から挨拶があり、「建設業界でも働き方改革が提唱され、時代の変化に合わせて女性の進出などに積極的に取り組んでいかなければならぬ。女性の広い視野ならではの意見を参考にしながら、一緒に盛り上げていきたい」と述べました。

来賓を代表して、保坂学秋田地域振興局長から「県民調査の結果を見ると、県民は個性と能力を発揮できる職場環境を求めている。そのニーズに応えるためにも、女性の皆さんのが力を発揮できるよう県として後押しをしていきたい。秋田のランドマークとなるよう今後の活動に期待したい」とのお祝いの言葉がありました。

設立総会では、規約、事業計画等を承認した後

役員の選出が行われ、会長に秋田瀝青建設（株）の大友円さんが選ばされました。

総会後は、「建設分野を巡る動向と女性活躍推進について」と題し、佐藤和義秋田県建設部建設産業振興統括監の特別講演があり、担い手不足などの本県建設産業が抱える課題や、女性活躍推進に向けた課題と対応・取組の方向性等について述べました。

その後交流会が行われ、会長に選出された大友円さんが「女性が能力を十分に発揮し、働きやすく、なおかつ働き続けることができる職場づくりや建設産業の魅力を伝える活動をしていきたい」と抱負を述べました。交流会では自己紹介をしたり、部会の愛称について意見を述べあったり、和気あいあいとした雰囲気のなか盛会裏に終了しました。

今後は、建設業の魅力の発信事業やキャリアアップ研修の開催などに取り組んでいく予定です。



右から順に 大友円 会長(秋田瀝青建設(株))、樋渡博子 副会長(伊藤工業(株))、菊地千春 副会長(株)清水組、木曾由美子 幹事(株)長谷駒組、二見千穂 幹事(中央土建(株))、増田祐 幹事(むつみ造園土木(株))、高橋章子 相談役(株)栗野工務店)

# 秋田中央地区建設技術推進協議会(产学官)技術研修会

秋田中央地区建設技術推進協議会（秋田地域振興局建設部・秋田大学・秋田中央建設業協会）主催の『技術研修会』が10月29日(火)午後1時05分から開催され、57名が参加しました。

はじめに当協会前において、佐藤春治会長（秋田地域振興局建設部部長）と加藤義光副会長（当協会会長）から開会にあたっての挨拶があり、続いて建設部堀内副主幹から日程説明の後、バス2台で現場に向かいました。

今回の現場研修は、平成30年5月の豪雨により甚大な被害が発生した国道101号生鼻崎、二級河川馬踏川と、11月17日より全線供用となる手形陸橋の3箇所で行われました。

一般国道101号生鼻崎道路災害関連工事では、安全・安心な交通機能を確保するため、被災箇所に接続したせい弱な法面の土砂崩落対策としての場所打杭（洞門工）について現場担当者から説明を受けながら見学をしました。

二級河川馬踏川河川改修工事では、浸水被害の

早期解消を図るため新河道に切替える工事の進捗状況、IC-T工の説明や、現場水位計を使用した河川水位の把握による施工管理、洪水・氾濫危険時の地域住民への周知など現場の取り組みについての説明がありました。

都市計画道路千秋広面線手形陸橋補修工事では、最新の技術・資材を活用しての補修・補強、耐久性を向上させる取り組み等の説明がありました。平成8年から整備がはじまり今回の全線供用により、交通渋滞の解消や救急医療への貢献、経済・産業の活性化がより一層期待されます。

最後に、現場で高橋良輔秋田大学准教授から「人口減少が激しい秋田で、安全・安心をどうやって守っていくのか、新しい資材・工法・技術を活用し、秋田県が建設技術で最先端となるよう産学官がより一層連携していく必要がある」と今回の研修会について講評があり、協会へ戻り17時10分に解散となりました。



一般国道101号生鼻崎道路災害関連工事



馬踏川河川改修工事



千秋広面線手形陸橋補修工事



高橋秋田大学准教授による講評

# 秋田工業高校現場見学会

10月8日(火)秋田工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

建築科の2年生35名と先生3名が参加し、C C R Cの導入による地域づくりの一環として秋田駅東側のJR体育館・学生マンション新築工事、秋田駅西側の優良建築物等整備事業新築工事と、和洋女子高校新築工事の4か所を見学しました。

秋田駅東口は「健康」と「スポーツ」をコンセプトとして町づくりを進めており、その一環であるJR体育館は、SRC構造であること、県産材を多く使用していること、駅のホームなどから多角形の窓を通して館内の練習風景が見られることなどの特色について、説明がありました。この体育館は、秋田ノーザンハピネッツとJR東日本ペッカーズの練習拠点として運用される予定で、施工中の選手のロッカールームやシャワールームなどを見学しました。



合宿所等宿泊施設も備えた学生マンションでは、足場を10階まで上って立地を確認したり、室内的な内装工事が完成に近くなる過程を見学しました。

午後からは秋田駅西側に移動し、CCRC拠点整備事業である複合ビルの新築工事を見学しました。「にぎわい」「健康」「住まい」をコンセプトにしたCCRCモデル事業であり、施設の中に

は住居部分以外に銀行やクリニックなどが併設されるなどの説明を受けました。

次の秋田和洋高校の新築工事では、鉄筋コンクリート造4階建てのうち躯体が出来上がっている3階まで上がり、新校舎の工事の様子を見学しました。



参加された生徒さんからは、「今まで現場を外から見たことはあっても中に入ったり、足場に上ったことはなかったのでとても印象に残った」「CCRCの町づくりについてはじめて知って勉強になった」などの感想が聞かれました。

生徒の皆さんには、この見学会で学んだこと、感じたことを今後の進路に生かしていただき、また、地元の建設企業に少しでも興味を持っていただければ幸いです。

今回の現場見学ではたくさんの方々にお世話になりました。関係者の皆さん、ありがとうございました。

## 秋田高専への出前講義

秋田地域振興局建設部と当協会との共催による『出前講座』が独立行政法人国立高等専門学校機構 秋田工業高等専門学校で、環境都市工学科2年生の生徒を対象に行われました。

講師に一般社団法人 日本建設機械施工協会東北支部情報化施工技術委員長の鈴木勇治氏を迎え、実現場における3次元測量や図面作成について、90分の講義をしていただきました。

現場で使用されている最新の測量機器による

3次元測量を体験した学生たちは、技術の進歩に驚きながら、今後自身が関係するであろう建設産業のI

CTを活用した建設技術について思いをはせて



いるようでした。

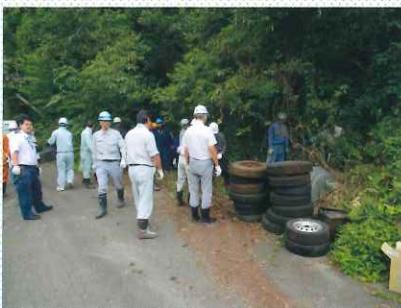
## 全国建設業労働災害防止大会

第56回 全国建設業労働災害防止大会が9月26日(木)、27日(金)の2日間、福岡国際センター他で開催され、当協会から雇用・安全委員及び事務局長9名が参加しました。

大会初日は、現場の災害防止に努めた会社や個人などが表彰され、**むつみ建設株式会社 佐々木徹 氏**が優良賞(会社)を受賞しました。続いて、大会実行委員による「安全の誓い」が宣言され、その後、講演が行われました。

## めざせクリーン秋田大作戦

10月3日(木)「めざせクリーン秋田大作戦」秋田地域協議会主催の不法投棄未然防止啓発事業が当協会23社からの40名をはじめ秋田県産業廃棄物協会中央支部、秋田地域振興局、市町村関係者ら135名が参加して行われ、井川町坂本大野地周辺ほかにおいて作業を行いました。



## 労働保険(労災保険・雇用保険)の加入手続きはお済みですか

### 11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

労働保険は、農林水産業の一部を除き、労働者を1人以上使用する全ての事業主が加入することとなっています。

該当する場合は、事業主及び労働者の意向にかかわらず、法律上、当然加入の手続を行うことが事業主の義務となっています。まだ加入されていない場合は、早急に最寄りの労働基準監督署かハローワーク（公共職業安定所）にご相談されますようご案内いたします。

秋田労働局総務部労働保険徴収室  
秋田市山王6丁目1番24号  
山王セントラルビル6階  
TEL 018-883-4267

## SAFETY2019 東北地方工事安全施工推進大会

10月2日(水)日立システムホール仙台において、東北地方工事安全施工推進大会「SAFETY2019」が開催され、安全施工に優れた取組みをした現場代理人として、当協会からは**株式会社 英明工務店 岩谷 大輔 氏**(秋田地区橋梁補修工事)、**中田建設株式会社 庄司 賢一 氏**(能代港外港地区防波堤(第二北)上部外工事)、**株式会社 加藤建設 松木 幸広 氏**(地方道路交付金工事(改築))が表彰されました。



## 秋田産業安全衛生大会

10月2日(水)秋田市文化会館において第66回秋田産業安全衛生大会が行われ、当協会会員事業所が長年にわたり労働災害防止及び職場の環境改善に関して積極的な活動を展開してきた功績を認められ、表彰されました。

建設業労働災害防止協会秋田県支部長賞

《事業場賞》株式会社 板橋組

《個人賞》職長賞 佐々木 広明 氏

(株式会社 加賀屋組)

